

## 平成30年度第5回国立大学法人静岡大学経営協議会議事録

日 時 平成30年11月28日(水) 14時00分～15時25分

場 所 静岡キャンパス 事務局棟5階 大会議室

出席者 塩田、鳥居、野田、晝馬、細井、吉林

石井、丹沢、木村、東郷、堀川、寺村、本橋、鈴木の各委員

欠席者 泉、栗村、大石の各委員

陪席者 伊東副学長、鈴木、村松の各監事

### I 前回議事録について

平成30年度第3回及び第4回国立大学法人静岡大学経営協議会議事録(案)を原案どおり承認した。

### II 審議事項

#### 1 大学間連携について

議長から、静岡大学・浜松医科大学連携協議会(以下、「連携協議会」という。)及び各専門委員会の進捗状況について、また、文部科学省との議論について、資料1により説明があった。

議長から、第4回連携協議会を12月6日に開催する旨、また、文部科学省による国立大学の一法人複数大学制度等に関する調査検討会議の結論が年度末になる見込なので、本学の意思決定もそれを待って年度末になる見込である旨、説明があった。

(学外委員から出された主な意見)

〔⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

⊕：将来的に公立大学又は私立大学との経営統合についてどのように考えているのか。

△：現在は公立大学又は私立大学との経営統合の枠組みはないので、中教審答申にある大学等連携推進法人の枠組みを活用して教育プログラムによる連携等を促進させたいと考えている。

⊕：教職員の人事権は各大学が持つことになるのか。雇用契約については企業法務に詳しい弁護士等に相談した方がいいのではないかと。

△：雇用契約は法人との契約になることを想定しているが、教員の採用等にあたってはこれまでどおり各大学において審査することを想定している。

⊕：病院の独立性については大きな論点なので慎重に議論する必要がある。

△：病院については法人経営の大きな論点なので慎重に議論したい。

- Ⓔ：医師確保は静岡県全体の問題として関心が高い。
- Ⓕ：浜松キャンパスは医工連携が進み、静岡キャンパスは経済や法律の文系を中心として地域との連携が強くなるなど、再編統合によってそれぞれのキャンパスの機能が強化されることを期待したい。
- Ⓖ：学外の県民、受験生、財界、地域の声はどのように受け止めているか。  
△：これまでも自治体、産業界をはじめ地域の意見を聴いてきたが、今後とも地域の意見をきちんと受け止めたいと考えている。例えば高校生に行ったアンケートによれば、静岡大学を受験する動機で一番大きなことは総合大学という理由ではなく、学びたい学部学科があるということで再編統合は「まったく影響がない」との回答が多かった。
- Ⓖ：高校生にとっては医工連携は関心が高いと想定されるので統合がプラスになってほしい。

### Ⅲ 報告事項

#### 1 平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果について

伊東副学長から、平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果について、資料2により報告があった。

#### 2 財務レポート2018について

堀川委員から、財務レポート2018について、資料3により報告があった。

#### 3 平成30年度補正予算(第1号)について

堀川委員から、平成30年度補正予算(第1号)について、資料4により報告があった。

### Ⅳ その他

#### 1 静岡大学関連記事

議長から、静岡大学に関連する新聞記事について、参考資料により紹介があった。

#### 2 静岡大学広報誌SUCCESS2018秋号

議長から、静岡大学広報誌SUCCESS2018秋号について、紹介があった。

以上